



### 5周年を迎えて

理事長 林 忠男

振り返るにはまだ早い気はしますが、5年の節目ということで、来し方を振り返りつつ、将来に向けて一言ご挨拶申し上げます。

まず最初に、ゼロからスタートしたビレジサポート（VS）を支援・応援いただいた、自治会・東京大学・コブラック・三井不動産・東急・柏市など、数多くの関係団体に感謝申し上げます。特に、草創期に1年半ほど事務所を無償で提供して頂いたF様の支援は大きな支えとなりました。今も深く感謝しています。

生活助け合い・庭木剪定活動の分野で5年の実績の積み重ねは、なかなか重いものがあります。近隣の町会を見回してみても、これからゴミ捨ての手伝いに限って助け合いを立ち上げようとする団体などが多く、柏ビレジはすでにその先を歩き、柏ビレジの付加価値を高めるのに役立っていると自負しています。

5年の経験は、VSに技術の向上・ノウハウの習得・ネットワークの広がりなどをもたらし、ある程度の問題には自らで解決・対応できる体制が整いました。今後も住民の皆様が日頃困っておられる問題の解決をお手伝いしてまいります。

昨年より「はなみずき」と共同で始めた「通いの場」を通じて、住民みなさんの健康維持・介護予防のお手伝いができる場を提供しています。時々、コミュニティカフェ「はなみずき」でお茶を飲む、コミュニティサロンである「IVY-LABO」に来て、誰かと話をしたり、買い物をする、歌声喫茶で大声で歌う、体操教室で体を動かすなど、家に閉じこもらないで社会参加していることが、老人性うつ病・認知症予防、介護予防に役立ちます。

### 活動開始、5周年おめでとう！

柏ビレジ自治会 会長 竹田 徹

ビレジサポートの皆様、「互助の精神に基づき、コミュニティ・サービスを創出し豊かでふれあいのある街づくりに貢献」を目的として活動5年、本当にご苦労様です。その活動も、当初の「助け合い活動」「剪定サービス」から始まり、徐々にその活動範囲も拡大していき地域の皆様が集まる「IVY-LABO」の運営と幅広く、精力的な活動本当に頭が下がる思いです。

昨年より「コミュニティルームはなみずき」との協同で「通いの場」としてのいろいろなアイデアの立案・実行、その継続は大変であるとは思いますが、住民の皆様が楽しく集える場としての活動、今後とも宜しくお願いします。

自治会では、「若い世代も含め誰もが住んでみたいと思い、住んでいる人達が住み続けたいと思う街づくり」を標榜しておりますが、思いは同じであると思いますので、どうぞこれからもビレジサポートの皆様方の活動を発展させていっていただければ幸いに存じます。

もう少し元気な方は、事務所の受付を担当して、友達とお話する、時には公園の草取りに参加するなど、生活にアクセントができ、生きがいも生まれます。

今後ますます高齢化が進む一方、若い人も増えつつあるこの柏ビレジで、VSを含めた住民活動が街の活性化に大きく寄与すると確信しています。住民のみなさんの参加をお待ちしています。

IVY-LABO、ビレジサポートご利用のお問い合わせは、IVY-LABO（TEL / FAX：04-7106-5117）まで

Community Space  
柏ビレジ商店街

IVY-LABO

OPEN

月・火・水・金・土  
11:00 ~ 16:00

# ビレジサポートの歩み VS発足の背景から今日の活動に至る歩みを振り返りました。

## ビレジサポートが誕生するまで

入居開始から30年目を迎えた2010年6月、柏ビレジ自治会は活性化委員会を発足させ、地域の魅力向上と住み良い街づくり実現に向けて、横断的・長期的な課題の取り組みを始めました。この時期、高齢化社会を研究課題に取り上げていた東京大学は、ビレジ商店街の空き店舗を実証実験の場として活用し、全世帯を対象にアンケートを実施しました。

この結果を基に、2012年3月に「楽しく生きがいのある街づくり」をテーマに、活性化委員会・東大共催のシンポジウムが開催され、80余名の住民が集まって活発な意見交換が行われました。その中で、生活支援の仕組み作りについて具体的な提案があり、2012年5月～8月に行われた「共に支え合う地域社会の在り方」のワークショップへと発展しました。ワークショップでは、米国ボストン

郊外のコミュニティや三鷹市の有償ボランティアによるコミュニティサービスの成功例が紹介され、これらのモデルを参考に、柏ビレジで住民参加型の支援事業を具体的にどう展開するか、5回にわたって熱心な議論が重ねられました。



2012年6月 はなみずきで行われたワークショップ

## 2012年11月 活動開始

ワークショップの参加者がコアとなり、地域の高齢化・過疎化に取り組む任意団体「ビレジリンク」を立ち上げました。活動の理念として、コミュニティに住む人たちが互いの知恵と体力を提供しあって、住みよい街づくりをするための5項目を掲げました。

- ◇ 小さなことから助け合い、困っている人にやさしい街
- ◇ 男性も女性も、老いも若さもふれあう街
- ◇ 子育てを助け合い、子供の見守りに熱心な街
- ◇ 気楽に挨拶が交わされ、オープンで清潔な街
- ◇ 人が集まり交流が出来る活気ある街

早速「助け合い活動」では、ゴミ出し、水遣り、雑草取り、買い物同行等のサービス提供を開始し、「庭木剪定」ではサービス開始に先立って剪定技術講習会（座学4回、実技2回）を行いました。

2013年1月、会の名称を「ビレジサポート」（VS）に改め、共に支え合うコミュニティサービスの提供者としての意志を明確にしました。2013年3月末の会員数は55名でした。

2013年6月1日、VS主催で「ふれあいイベント」を開催しました。活動を開始したばかりのVSをPRすると共に、子供たちを中心とした「世代を越えたふれあいの場」として大成功をおさめ、その後、近隣の

各団体を横断した「イベントサークル」による夏の「わいわいフェスタ」と暮の「ファミリークリスマス」開催へと発展しました。



2013年3月 剪定講習の実技実習



2013年5月  
カーポート清掃作業



2013年6月1日 ふれあいイベントでデビューした焼きそば隊

## 2013年10月 NPO法人化

VSの運営が軌道に乗って活動が外部にも認知されるようになり、対外信用度の向上やNPO保険適用のメリット等を考慮してNPO法人化の準備を進め、2013年7月に設立総会を開催、2013年10月に千葉県から特定非営利活動法人の認定を受けました。その結果、外部からの受託事業も増加して、組織基盤の強化を進めることができました。

2014年1月、近隣の業者さんのご好意で中古軽トラックを譲って

いただきました。作業用機材や剪定ゴミの運搬に威力を発揮し、サービスの向上とユーザーの拡大につながると共に、イベントでの機材輸送等でも活躍してVSのマスコットになりました。初代軽トラックは2017年9月まで元気に働き続けて引退し、VSが積み立てた資金で調達した2代目に役目を譲りました。

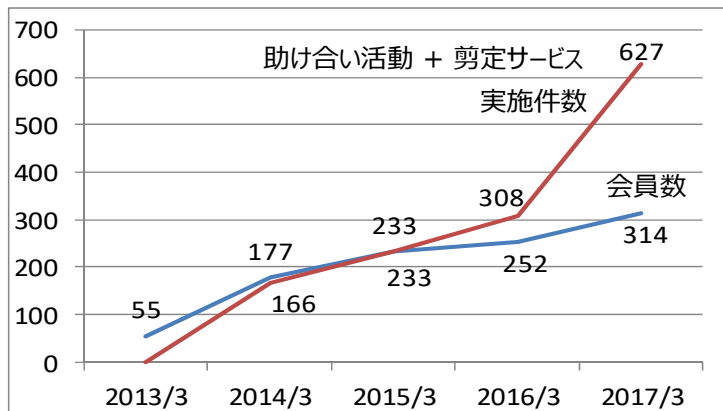


2014年1月 初代軽トラック入手

## 2016年4月「IVY-LABO」を拠点に活動拡大

2016年4月、活性化委員会が東京大学と連携して商店街に開設した「IVY-LABO」をビレジサポートが継承し、設立以来の念願だった常設の活動拠点とすると共に、コミュニティスペースとして近隣の皆様に利用いただくことにより、VSの活動理念をより実践的に展開する場所になりました。

おかげ様でVSの活動は、助け合い活動と剪定サービスの順調な伸びに加え、キャンパス地域でのさまざまな受託事業や、柏市から受託した緑道保全等も加わって、拡大と充実を続けています。これからもご支援をよろしくお願いいたします。



## 皆さまからの声

ビレジサポートを支援して下さっている方、サービスを利用されている方、活動に積極参加しているサービス協力者から、メッセージをいただきました。

### コミュニティーカフェ「はなみずき」より

昨年4月、VSが「IVY-LABO」の運営管理を開始、はなみずきにとっても「力強い隣人」を得ることとなりました。7月からは、IVY-LABOとはなみずきの共同運営で、柏市社会福祉協議会認定の「通いの場」事業を立ち上げ、協力関係は更に大きく進展しました。はなみずきの10年の活動の積み重ねと、VSも加わった新たな活動は、今では柏地区のモデルケースとして期待されていることは嬉しい限りです。

柏ビレジ商店街の一角から、これからもIVY-LABOとはなみずきのメッセージを発信し、誰もが笑顔で暮らし続けられるような街づくりを目指し、活動を続けていきましょう。

これからのVSの活動に期待し、更に大きく発展されますよう、心から応援しています。

ボランティア代表 中村のり子さん

### 剪定サービス技術顧問より

縁あって、VSが出来たばかりの2012年12月に庭木剪定講習会の講師を引き受けてから今日まで、剪定サービスの皆さんと一緒に仕事をしてきました。発足当初、中心メンバーが毎日のように集まって、Y部長を中心に体制作りや機材の調達に走り回り、自ら頭を下げて受けた剪定依頼に、作業服姿で汗だくになって作業している姿を見て、現役時代はそれなりの役職で、首から上しか使わなかった人たちが…、とある種の感動を覚えたのを記憶しています。

あれから5年、様々な問題をその都度克服しながら、年間100件を超えるまでに成長し、基本的な諸作業はほぼ出来るようになりましたが、剪定に終点はありません。いつまでも研鑽が必要です。今後も①チームワーク（不満な人を作らない）②日々前進（技術向上）③顧客満足度維持、を念頭に、常に初心に帰って精進しましょう。

剪定サービス部技術顧問 家中厚夫さん

## 利用者のお宅を訪ねて取材： 助け合い活動

### ガーデニングを楽しむKさん 女性 70代（6支部）

高台のお宅の陽当りのよい南向きの庭に芝を植え、ダリア、ジニア、インパチェンス、風船唐綿、ハイビスカスなど、たくさんの種類の草木を育てておられますが、ご自分で美しく維持し続けることが体力的に難しく感じられるようになり、以前は生協の家事代行サービスを利用されていたそうです。

その後、VSの活動を知って、先ず旅行時の庭の水遣りサービスを試され、隣人らしい心のこもった仕事ぶり、リーズナブルな料金に納得され、今では春の草取りに始まり、シーズン中は月に1回の除草と芝刈りを利用して、きれいなお庭を維持しておられます。

### フルタイムで働くSさん 女性 50代（2支部）

週日は忙しく働いておられるSさんは、お仕事のかかわりで、またご両親の高齢化もあり、コミュニティでの相互支援についてかねてから関

心を持たれ、自治会の活性化委員会にも参加しました。そのため、VSの活動は発足当初から知っておられ、ビレジに住む人が隣人として提供してくれるサポートに不安はなく、依頼することに決められました。現在は庭の除草、出張等の不在時の庭の水遣り、ゴミ当番の代行など、ご自分の状況に合わせてご利用いただいています。

70、80代になっても地域で楽しく暮らすために、さらに充実したコミュニティサービスに期待していますと話していただきました。



除草と芝の手入れの作業

## サービス協力者（会員）の声：受託事業

### Mさん 男性 71歳（8支部）

妻は2年前からVSに参加して海産物販売などで活動していました。私は家でぶらぶらしていましたが、妻に「あなたもやったら、楽しいから」と重ねて勧められ、半信半疑で入会しました。

今はすっかりはまってしまい、柏の葉キャンパス地区のアクアテラスの鍵作業、西口のパラソル14本の開閉作業、年3回の雑草取りに加え、ピレジ緑道の清掃・除草、年2回のワイワイフェスタのお手伝い等々に広がっています。これ程天気が気になるのは人生で初めてです。VSの皆様と楽しく有意義な71才の充実した生活が送れることに感謝して、毎日を過ごしています。



第3・4 緑道の清掃・除草作業



西口パラソルの開傘作業



ららポット倶楽部の作業

### Uさん 女性 42歳 VS賛助会員（柏の葉キャンパス在住）

柏の葉キャンパス駅前を彩る草花への水やりを始めて1年半。街の多くの人々が草花を通して四季の変化を楽しみ、街の心地良さを感じてほしいと願い、日々作業をしています。ららポット倶楽部（水やりチームの愛称）の活動はコミュニティづくりにもつながっています。マンション生活では、地域住民同士のつながりが希薄、でも私達の活動は顔が見える関係、近隣で挨拶を交わす場面が増えて、とても嬉しいです。

シニアの方々は、健康維持の一助にもなり心も体もスツクリ、外出の機会が増えた等の声が聞かれています。私は、育児の悩みなどをシニアの方に気軽に相談するなど心の支えになっています。

地域住民の力を合わせて「街の心地よさ」と「地域コミュニティづくり」を継続できるよう、倶楽部一同頑張ります。

### 三陸大槌町の小豆嶋漁業を訪ねて：海産物販売

9月末、三陸・浄土が浜まで往復1,300キロの旅の途中、岩手県大槌町の「小豆嶋漁業（株）」（海産物仕入れ先）を訪ねました。常磐高速で福島県に入ると、もう忘れかけていた「放射線〇〇シーベルト」の標識が目飛び込んで来ます。

三陸海岸一帯は6年半前の大地震、大津波の傷跡も生々しく、小山のような巨大堤防や道路など復興建設の真最中で、目の前に見える小豆嶋漁業の本社・工場へ行くにも、道路工事でなかなか辿りつけない状況でした。

小豆嶋漁業は昭和54年創業。大震災で壊滅的な被害を受け、廃業も視野の苦悩の末、一念発起して新社屋を完成させ、冷凍保管機能を備えた加工工場も増設して、懸命な努力を続けておられます。-20℃の巨大冷凍倉庫、海産物加工のための数々の最新設備など、将来の発展に向けた強い意気込みを感じさせます。

社長夫妻が未だ仮設住宅住まいと聞き、思わず涙がこぼれそうになりました。報道のように、秋刀魚やイカの漁獲量が減少し、秋鮭の漁獲にも心配があり、取り巻く環境は厳しく、大震災からの完全復興、将来への発展は未だ途半ばです。

私たちが始めた海産物販売事業が、少しでも復興の支援に繋がりを、柏ピレジ商店街の賑わいのお役に立てればと願っています。

海産物販売担当 萩原辰雄



小豆嶋漁業（株）本社・加工工場と社員の皆さん

VSのホームページ、役に立つ最新情報を満載、ぜひご利用ください！

URL: <http://villagesupport.jp>

8月にリニューアルしたVSホームページは、サーバー管理データによれば1日平均15件のアクセスがあり、利用者が着実に増えています。

スマホでURLを読み込めます。  
お気に入りに登録してください →



皆様のお役に立つフレッシュな情報を随時掲載しますので、ぜひご利用ください。

■ ビレジサポート サービス協力者募集中！ お問い合わせは IVY-LABO 店頭受付（TEL:04-7106-5117）まで